



第二十四期新体制スタート

スローガン「パラダイムシフト」

新たな社会に向けて

第二十四期会長 山田<sup>やまだ</sup>俊哉<sup>しゅんさい</sup>

この度令和三年五月より全曹青第二十四期が始動しました。コロナ禍により総会は、書面決議となった昨年に引き続き、今年は初めてのオンライン開催となりました。この状況下で二年目となり、いよいよ後戻りできない社会の変化を感じざるを得ません。まさに価値観や概念が劇的に変化する「パラダイムシフト」の渦中にあります。オンラインによるコミュニケーションはすでに日常となり、新しい生活様式が一足とびに展開しました。仏教、お寺、僧侶を取り巻く環境もまさにパラダイムシフトし、社会の変化と要求を見極め、応えることができるよう求められています。

前年度には、この困難の中において、手探りで一生懸命にオンライン事業を行いました。オンライン坐禅、精進料理動画など、事業は多様な広がりを見せています。一時しのぎで終わらせるのではなく、今後の大きな柱として活用していきたいと考えております。



大本山總持寺祖院にて

また、オンライン化は普段であれば繋がれなかった方がたとも、広大で迅速なネットワークを生みました。そして何より全曹青の全国組織としての連携構築に、今後も大いに役立つものと思えます。今期は全国の加盟曹青会との連携をさらに深めることを目標とし、加盟曹青会や会員の活動を広く取り上げていきます。地域で活躍する青年僧侶を紹介することは、宗門を挙げたのSDGs並びに過疎対策事業への取り組みにも、大いに役立つものと考えます。

全曹青は次期に創立五十周年を控えております。特別な節目に当たり全曹青の歴史に深く敬意を表し、また未来への期待、次世代の青年僧侶の可能性を膨らませられるよう、今期より準備を重ねて相応しい行事を計画したいと存じます。

また、大本山總持寺・大本山總持寺祖院・行政等による合同プロジェクト「禅と海 里づくり・交流促進プロジェクト」大本山總持寺開創七百年」に参画しています。九月に厳修される慶讃法要・御両尊御征忌会では全曹青記念イベントを計画しております。この勝縁に出会えることに感謝し、次代の宗門興隆を担う青年僧侶として、報恩の誠を捧げたいと存じます。

国際事業は往來が難しい状況が続きます。オンライン



全曹青YouTubeチャンネルより

ンを最大限活用し、英語による坐禅教室や動画の配信を企画しています。全曹青が築き上げてきた国際活動の継続とさらなる発展、そして曹洞禅の国際的価値を高め、青年僧侶の国際的視野を広げる活動を行います。未来からは今年がどう見えるのか。

今の全曹青はまさに歴史的な転換期の真つ只中입니다。日本全国の枠を超え国際的に広がりをもった活動にオンラインを加え、さらに宗門の伝統と全曹青五十年の歴史という時間軸を加えた四次元のコラボレーションから起こる、新たなイノベーションを模索していきます。

いまこそ全曹青が青年僧侶の情熱をもって、新しい時代の始まりを切り開くべく、会員一同邁進してまいります。何卒更なるご理解とご協力を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

合掌



●執筆者プロフィール  
やまだしんじ  
山田俊哉

秋田県曹洞宗青年会所属  
全曹青第二十四期会長。  
第十八期より出向。第二十二期事務局長、  
第二十三期副会長。